

富士箱根伊豆国立公園
(三宅島を除く伊豆諸島地域)

指 定 書
及び
公 園 計 画 書

平成25年5月24日
環 境 省

富士箱根伊豆国立公園
(三宅島を除く伊豆諸島地域)

指 定 書

目 次

1 指定理由	- 5 -
2 地域の概要	- 5 -
(1) 景観の特性	- 6 -
ア 地形、地質	- 6 -
イ 植生	- 6 -
ウ 野生生物	- 7 -
(2) 利用の現況	- 8 -
(3) 社会経済的背景	- 8 -
ア 土地所有別	- 8 -
イ 人口及び産業	- 9 -
ウ 権利制限関係	- 9 -
3 公園区域	- 12 -

1 指定理由

富士箱根伊豆国立公園は、富士山を頂点とし、伊豆半島から七島、硫黄海嶺に続く火山列に起因する火山弧峰、火山カルデラ、半島、列島景観により構成され、フィリピン海プレートがユーラシアプレート及びオホーツクプレートに沈み込むプレートテクトニクスのダイナミズムを感じることができる国立公園である。

本国立公園は、わが国の最高峰富士山を中心とした山々、富士五湖と称される山中湖等の湖沼群、また富士山麓の溶岩流上に広がる青木ヶ原樹海といった原生林を擁する山岳等、湖沼及び山林の一体的景観に加え、箱根外輪山に囲まれた地域では、箱根カルデラ内の芦ノ湖及び仙石原を中心とする火口原部、神山及び駒ヶ岳を中心とする中央火口丘部、早川及び須雲川により深く刻まれた渓谷部等、変化に富む繊細な景観を有することから、昭和 11 年に富士箱根国立公園として指定された。

また、昭和 30 年には、複雑な火山活動と一体の隆起沈降によって形成され、中央部の U 字形の山稜地帯と東部及び南西部の特異な海岸地形を有し、温泉や幾多の史跡に富んでいる伊豆半島地域が編入された。

さらに昭和 39 年には、上記と一体的な火山列島として、また伊豆半島との利用の関連が多いこと等により、伊豆諸島地域が編入されたものである。

2 地域の概要

伊豆諸島地域は、東京からほぼ南、120～290km の太平洋に点在する火山島で、北から、大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島の有人 8 島及びその他の小島の、行政上 2 町 5 村が公園区域に指定されている。

大島は、島のほぼ中央に外輪山で囲まれた 10 km²ほどの砂漠と呼ばれるカルデラと、その中に中央火口丘である三原山を有する、伊豆諸島最大の島である。また、利島は、全体が円錐形で、周囲に海食崖をめぐらせた島であり、豊かな椿林と、オオミズナギドリの群棲が見られる。新島は、抗火石を算出する向山や、白砂と断崖で形成された長く続く海岸線を有する。同様に白砂が見られる式根島は、伊豆諸島中最も変化に富み、数多くの入り江を持つリアスの海岸線が見られる。伊豆諸島のほぼ中心にある神津島は、火山性荒原の景観や海岸景観を眺望できる天上山がそびえ、山頂の白ママ層の砂地には海浜植物が生育するなど、特異な相観を有している。大島と同様に火山活動の活発な三宅島では、随所で特色のある火山地形が見られるほか、伊豆諸島最大の火口湖である大路池を中心に、アカコッコ、イイジマムシクイ等希少な鳥類を始め、野鳥の生息密度が高い。ほぼ円形をなした鐘状の島である御蔵島は、スタジイを中心に、数多くの巨樹が生育し、豊かな森はオオミズナギドリの生息地となっている。また、夏季を中心にイルカウォッチングが行われている。八丈島は、南東部を占める三原山、北西部を占める八丈富士の二つの火山より成り立っており、マユ形をした島であり、島内には亜熱帯植物が多く見られる。

(1) 景観の特性

ア 地形、地質

伊豆諸島は、約4,800万年前に太平洋プレートの沈み込み帯に沿って、フィリピン海プレート上に形成され、伊豆・小笠原弧と呼ばれる海洋性島弧のうち、硫黄島に続く火山性の内弧として誕生した海洋島である。

火山に起源を有する島々から成る伊豆諸島は、大島、利島、三宅島、御蔵島、八丈島の玄武岩を主とするものと、新島、式根島、神津島の流紋岩より成る島々と二つに大別できる。

この内的営力としての火山活動と、黒潮によっておこる波、風等の外的営力により、各島は相互に関連を持ちながらそれぞれ異った地形的特色を呈している。

大島、三宅島は噴火活動が著しく、新旧の溶岩、砂漠、爆裂火口湖等の火山地形が見られ、新島、式根島、神津島は、流紋岩系で地形的に変化に富み、御蔵島、利島はほぼ円形の成層火山で、海食崖に特色を持ち、八丈島は、二頭火山で、八丈富士と八丈三原山の対比に特色がある。

また、大島では、日本では数少ない玄武岩質の活火山である三原山を中心に、火山を含む地球全体の活動を学ぶことのできる貴重な場所が島内に多数存在していること、活火山の観光と安全を両立する体制があること、ボランティアガイドや、プロのネイチャーガイドにより、観光客の様々なニーズに合わせた取り組みが行われていること、行政、各民間団体が参画する推進委員会が組織され、研究者も協力する体制ができていることなどが評価され、2010年9月に日本ジオパークに認定された。

イ 植生

伊豆諸島は、常緑広葉樹林帯に属し、その植物相は箱根、伊豆半島、房総半島、三浦半島などと同様にフォッサマグナ区系であり、共通する種が見られる。一方で、火山島であることから、その地理、地形に大きく影響を受けており、固有あるいは準固有の種や変種が多く存在するほか、噴火による裸地形成から極相に至る植生の遷移の諸段階を見ることができる。特に、噴火活動の著しい大島や三宅島では、まず裸地はハチジョウイタドリが代表する火山荒原となり、それはやがてオオバヤシャブシなどの低木林に変わり、さらにオオバエゴノキ、オオシマザクラなどの生える落葉・常緑広葉樹混交林を経てスダジイ林などの常緑広葉樹林となる、様々な段階を間近に見ることができる。

また、無人島を除き古くから人間活動が活発に行われているため、自然植生の多くにも人為が及んでいる。

< 海岸部 >

海食崖にフォッサ・マグナ地域に典型的な、イソギク、スカシユリ、ボタンボウフウ、ハマカンゾウ、ハチジョウススキからなるイソギク - ハチジョウススキ群集の海岸断崖植生が見られる。

< 海岸断崖頭部 >

マサキ、トベラ、ヒメユズリハ、タブ、ヤブニッケイ、ツワブキ、フウトウカズラからなるマサキ - トベラ群集の断崖風衝低木群落が見られる。

< 山麓部 >

スダジイ、タブ、ヤブツバキ、ヒサカキ、シロダモ等からなるオオシマカンスゲ - スダジイ群集

が特徴的であるが、人為の影響を最も受けている地域で、御蔵島に残存している他は小規模で大部分の地域は、二次林である。

その中で特徴的なのは、利島のツバキ植林地、三宅島のガクアジサイ、ユズリハ、オオバヤシャブシ、イヌツゲを主とした低木林、御蔵島のスタジイ、タブを主とした常緑樹林である。

< 山頂部 >

一部を除いて人為の影響が最も少なく、多くの特徴的自然を残している。

大島、三宅島では火山砂の上にヒメノガリヤス、ハチジョウススキ、ハチジョウイタドリ、溶岩の間には環境省レッドリストの準絶滅危惧種に掲載されているシマタヌキラン、溶岩上にオオバヤシャブシ等典型的な火山先駆植生がみられる。

神津島天上山頂は、環境省レッドリスト絶滅危惧 類のハコネコメツツジ、オオシマハイネズを主体としたマント状の群落、白ママ層の砂地には、ハマオモト、ハマボッス、スカシユリ等の海浜植物が育成し、特異な景観を呈している。また、本地域でのみ生育する環境省レッドリスト絶滅危惧 B類のイズノシマホシクサが見られる。

御蔵島御山山頂部には風衝草原が見られ、アマキザサ、ミヤマクマザサのササ原にハコネコメツツジ、ツゲが混在し、マイヅルソウ、環境省レッドリスト絶滅危惧 類のコイワザクラ、ノギランといった北方系の多様な植生が殆ど原生状態で残存している。

ウ 野生生物

伊豆諸島地域は、太平洋に点在する火山島であり、河川や池沼に恵まれていないこと、また繰り返しの噴火による既存生物相の破壊的打撃が大きいことにより、動物相としては、哺乳類、両生類、爬虫類の種類数は少ないが、鳥類は 270 種を数え、渡り鳥であるシギ・チドリ類やカモ類などは本土と共通種が多く、陸鳥類では、固有種や固有亜種が多く存在する。

特に、伊豆諸島やトカラ列島でしか見られず、環境省レッドリスト絶滅危惧 B類に掲載されているアカコッコや絶滅危惧 類に掲載されているイジママムシクイなどの固有種をはじめ、分布が限定されている準絶滅危惧種のカラスバトや絶滅危惧 B類のウチヤマセンニューウ、また、絶滅危惧 類のタネコマドリや絶滅危惧 B類のモスケミソサザイなどの固有亜種が存在する。さらに、絶滅危惧 B類のナミエヤマガラ及びオーストンヤマガラは、島ごとに亜種が分かれている。

伊豆諸島は海洋性の鳥類の営巣地としても重要な位置を占めており、神津島近傍の祇苗島や三宅島近傍の大野原島は、環境省レッドリスト絶滅危惧 類に掲載されているカンムリウミスズメの営巣地となっている。また、御蔵島は国内最大のオオミズナギドリの集団繁殖地である等、貴重な鳥類の繁殖が確認されている。

なお、鳥類以外の希少種として、オカダトカゲが存在する。オカダトカゲは、環境省レッドリストにおいて、絶滅のおそれのある地域個体群に位置づけられており、特に三宅島や八丈島では、かつてネズミによる農業被害を防ぐために導入されたニホンイタチの影響によって個体数は大きく激減している。

(2) 利用の現況

全国的な離島ブームの時期には 100 万人を超えた利用者数は、昭和 48 年の 137 万人をピークに、その後減少を続け、現在は約 48 万人となっており、ピーク時の半数を割り込んでいる状況である。利用形態として、大島、新島、式根島、神津島、三宅島、八丈島では、海水浴やダイビング、サーフィンなど、また利島や御蔵島ではイルカウォッチングなどのマリトレジャーが中心であり、利用者は夏期に集中する。その他、三宅島ではバードウォッチングを目的とする利用もなされている。

各島における通年利用としては、自然探勝、ハイキング、休養、魚釣等がなされている。

御蔵島では、東京都により自然環境保全促進地域に指定されているほか、御蔵島村が自然保護条例を制定しており、登山や沿岸でのイルカウォッチングの際には現地ガイドの同行を必要とし、自然環境を守りながら自然とふれあうエコツーリズムが行われている。

また大島は、2010 年 9 月に日本ジオパークに認定されており、防災、教育、ガイドの 3 部会が連携しながら活動している。防災に関しては、ガイドに対して火山防災教育を行い、防災の担い手を育てるとともに、ガイドを通して広く一般に火山防災を伝えている。また教育では、島内の小中学生が校外学習などを通じて火山学や火山観測体制、防災について学んでいる。ガイドに関しては、ガイドを養成したり、ジオパークの周知のための講習会が実施されている。また、ジオパークに認定される以前より活動しているネイチャーガイドが中心となり、1 名からでも常時参加できるジオツアーも行われており、利用者の満足度も高いものとなっている。その他、ジオパークに関する展示なども実施されている。

なお、本州から伊豆諸島各島への交通機関としては、船舶と航空機とがあるが、経済性、輸送力の面から海上交通が主たるものとなっている。海路のうち、大型客船は東京・竹芝から大島、利島、新島、式根島、神津島をつなぐ航路と、竹芝から三宅島、御蔵島、八丈島をつなぐ航路とに分かれて運航している。また、竹芝と大島から神津島までの各島へは、平成 14 年からジェットfoilが就航するようになった。大型船では、東京・大島間は約 5 時間、東京・神津島間は約 8 時間半の時間を要するが、ジェットfoilでは東京・大島間は 1 時間 45 分、東京・神津島間は約 3 時間半で渡ることが可能となり、以前と比べて所要時間が大幅に短縮されるようになった。また、空路では、羽田・大島間と羽田・八丈島間をつなぐジェット機のほか、調布と大島、新島、神津島のそれぞれ各島を結ぶ小型飛行機が運航している。飛行時間は、ジェット機では、羽田・大島間は 35 分、羽田・八丈島間は 55 分である。また、小型飛行機では、調布・大島間で 25 分、調布・神津島間で 45 分である。その他、大島、利島、三宅島、御蔵島、八丈島、青ヶ島間の各島間をつなぐヘリコプターも運航しており、大島・三宅島間は 20 分、御蔵島・八丈島間は 25 分で渡ることができる。しかしながら、以上のように交通手段の複数ルート化やこれに伴う施設整備などが行われてきたものの、利用者数は依然として停滞したままであり、一部島と東京とを結ぶジェット機の就航本数の縮小も行われている。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

国有地	511ha
-----	-------

公有地	9,718ha
私有地	12,087ha

イ 人口及び産業

大島町 8,587 人、利島村 318 人、新島村 3,004 人、神津島村 1,972 人、三宅村 2,775 人、御蔵島村 316 人、八丈町 8,201 人、合計 25,173 人（平成 24 年 1 月 1 日現在）であるが、大部分が各島各地域の集落内に住み、国立公園区域内の定住人口はわずかである。

産業の基盤は農漁業であるが、観光依存度が高い。

ウ 権利制限関係

（ア）鳥獣保護区

（国指定）

種類	位置	重複面積（ha）	当初指定年月日
祇苗島鳥獣保護区	東京都神津島村祇苗島	593	平成 22.11.1
大野原島鳥獣保護区	東京都三宅島三宅村大野原島	546	平成 22.11.1

（都指定）

種類	位置	重複面積（ha）	当初指定年月日
坪田大路池鳥獣保護区	東京都三宅村坪田	82	昭和 19.10.31
新島鳥獣保護区	東京都新島村本村	10,800	国設禁猟区 昭 27.2.1 都設に変更 昭 46.8.1
三宅島富賀山鳥獣保護区	東京都三宅村阿古	185	国設禁猟区 昭 31.10.15 都設に変更 平成 8.11.1
八丈富士鳥獣保護区	東京都八丈町大賀郷、三根	458	昭 40.6.1
八丈三原山鳥獣保護区	東京都八丈町三原山	580	昭 40.6.1
小岩戸ヶ鼻鳥獣保護区	東京都八丈町中之郷	227	昭 40.6.1
御蔵島鳥獣保護区	東京都御蔵島村南部	618	昭 49.11.1
大島泉津鳥獣保護区	東京都大島町泉津	470	昭 50.11.1
三宅島雄山鳥獣保護区	東京都三宅村雄山	332	平成 5.11.1

(イ) 史跡名勝天然記念物

区分	名称	位置	指定年月日
都指定史跡	武田信道及び家臣供養塔並びに屋敷跡	東京都大島町野増	昭 31. 3 . 3
	鉄砲場の岩陰遺跡	東京都大島町泉津	昭 33.10. 7
	ケッケイ山遺跡	東京都利島村西山	昭 33.10. 7
	原町の井戸	東京都新島村本村	昭 33.10. 7
	上木甚兵衛墓及び三島勘左衛門石像	東京都新島村本村	昭 33.10. 7
	大島下高洞遺跡	東京都大島町元町	昭 61. 3 .10
	利島阿豆佐和気命本宮境域	東京都利島村南御神山	昭 62. 2 .24
	利島大山小山神社境域	東京都利島村なが山	昭 62. 2 .24
	利島下上神社境域	東京都利島村東山	昭 62. 2 .24
	吹之江遺跡	東京都新島村式根島	昭 62. 2 .24
	利島大石山遺跡	東京都利島村	昭 63. 2 .22
	大島竜の口遺跡	東京都大島町野増	昭 63. 2 .22
	神津島阿波命神社境域	東京都神津島村長浜	昭 63. 2 .22
	三宅島役所	東京都三宅村神着	昭 57. 3 .26
	三宅島大里遺跡	東京都三宅村坪田	昭 58. 5 . 6
	三宅島ココマ遺跡	東京都三宅村坪田	平元. 3 .24
	梅辻規清墓	東京都八丈町中之郷	昭 33. 10. 7
	八重根のメットウ井戸	東京都八丈町大賀郷	昭 55. 2 . 21
八丈島湯浜遺跡	東京都八丈町檜立	昭 58. 5 . 6	
町村指定史跡	流人墓地	東京都新島村本村	昭 62. 3 .30
	向畑刑場跡	東京都新島村本村	昭 62. 3 .30
	式根島のまいまいず井戸	東京都新島村式根島	昭 62. 3 .30
	里川の水源	東京都新島村	昭 62. 9 .25
	流人墓地	東京都神津島村	昭 45. 1 .10
	尾越の水汲場	東京都八丈町末吉	昭 51. 5 .11
国指定特別天然記念物	大島のサクラ株	東京都大島町泉津	昭 27. 3 .29
	カモシカ	東京都大島町泉津(大島公園内)	昭 30. 2 .15
	タンチョウ	東京都大島町泉津(大島公園内)	昭 27. 3 .29
	アホウドリ	地域を定めず指定	昭 37. 4 .19

区分	名称	位置	指定年月日
国指定天然記念物	シイノキ山のシイノキ群落	東京都大島町泉津	昭 26. 6 . 9
	大島海浜植物群落	東京都大島町泉津	昭 26. 6 . 9
	ヘゴ自生北限地帯	東京都八丈町大賀郷、三根	大 15.10.27
	アカコッコ	地域を定めず指定	昭 50. 2 . 13
	イイジマムシクイ	地域を定めず指定	昭 50. 6 . 26
	オカヤドカリ	地域を定めず指定	昭 45.11.12
	オジロワシ	東京都大島町泉津（大島公園内）	昭 45. 1 . 23
	オオワシ	地域を定めず指定	昭 45. 1 . 23
	カラスバト	地域を定めず指定	昭 46. 5 . 19
	カンムリウミスズメ	地域を定めず指定	昭 50. 6 . 26
	コクガン	東京都大島町泉津（大島公園内）	昭 46. 5 . 19
	マガン	東京都大島町泉津（大島公園内）	昭 46. 6 . 28
都指定天然記念物	野増大宮のシイ樹叢	東京都大島町野増	昭 14.12. 2
	差木地の大クス	東京都大島町差木地	昭 14.12. 2
	春日神社のイヌマキ群落	東京都大島町差木地	昭 33.10. 7
	潮吹の鼻	東京都大島町泉津	昭 14.12. 2
	おたいね浦の岩脈と筆島	東京都大島町波浮港	昭 15. 2 .
	東要寺のイヌマキ	東京都新島村式根島	昭 33.10. 7
	東要寺のナギ自生地	東京都新島村式根島	昭 33.10. 7
	神着の大ザクラ	東京都三宅村神着	昭 11. 3 . 4
	ビャクシン	東京都三宅村神着	昭 11. 3 . 4
	堂山のシイ	東京都三宅村伊豆	昭 11. 3 . 4
	御蔵島鈴原の湿原植物群落	東京都御蔵島村鈴原	昭 32. 2 . 21
	三宅島椎取神社の樹叢と溶岩流	東京都三宅村神着	昭 60. 3 . 18
	御蔵島御代が池のツゲ9本	東京都御蔵島村御代が池	昭 19. 3 . 15
町村指定天然記念物	大路藻	東京都三宅村大路池	昭 47. 2 . 20
	迷子椎	東京都三宅村大路池	昭 47. 2 . 20
	普濟院の大桜	東京都三宅村伊豆	昭 47. 2 . 20

区分	名称	位置	指定年月日
	普済院の蘇鉄	東京都三宅村伊豆	昭 47. 2 . 20
	ハコネコメツツジ	東京都三宅村雄山	昭 47. 2 . 20
	リュウビンタイ	東京都三宅村神着	昭 47. 2 . 20
	オオシマハイネズ	東京都三宅村阿古	昭 47. 2 . 20
	ミヤケコゲラ	東京都三宅村	昭 47. 2 . 20
	オーストンヤマガラ	東京都三宅村	昭 47. 2 . 20
	タネコマドリ	東京都三宅村	昭 47. 2 . 20
	モスケミソサザイ	東京都三宅村	昭 47. 2 . 20
	ウチヤマセンニュー	東京都三宅村	昭 47. 2 . 20
	シチトウメジロ	東京都三宅村	昭 47. 2 . 20
	しんのうやし雌雄原種	東京都八丈町中之郷	昭 51. 5 . 11
	楊梅ヶ原の大シイ	東京都八丈町大賀郷	昭 51. 5 . 11
	銀木犀下のタブノキ	東京都八丈町大賀郷	昭 58.11.14
	川の平のオガタマノキ	東京都八丈町三根	昭 58.11.14
	優婆夷宝明神社のソテツ	東京都八丈町大賀郷	昭 58.11.14
	八丈富士浅間神社のヤマグルマ	東京都八丈町八丈富士	昭 58.11.14
	大里のビロウ古株	東京都八丈町大賀郷	昭 58.11.14

(ウ) その他

各島の集落前の海岸線、その他に海岸保全区域が指定されている。

3 公園区域

富士箱根伊豆国立公園（三宅島を除く伊豆諸島地域）の区域を次のとおりとする。

(表 1 : 公園区域 (陸域) 表)

都 県 名	区 域	面 積(ha)
東 京 都	おおしま 大島町 あかた、ましきじ、せんづ、のまし、はぶみなと、もとまち 岡田、差木地、泉津、野増、波浮港及び元町の各一部	8,847

	としま 利島村の一部	405
	にいしま 新島村の一部	2,636
	こうづしま 神津島村内 国有林東京神奈川森林管理署 300 林班の全部	1,795
	こうづしま 神津島村の一部	
	みくらしま 御蔵島村の一部	1,953
	はちじょう 八丈町 おおかごう かしたて すえよし なかのごう みつね 大賀郷、檜立、末吉、中之郷及び三根の各一部	6,680
	(これらの地域の地先海岸、地先島しょ及び地先岩礁を含む)	
	合 計	22,136

(表2：公園区域(海域)表)

区 域	面 積(ha)
東京都大島町、利島村、新島村、神津島村、御蔵島村及び八丈町の地先海面の一部	23,300
合 計	23,300

富士箱根伊豆国立公園
(三宅島を除く伊豆諸島地域)

公園計画書

目 次

1	基本方針	- 5-
2	規制計画	- 6-
(1)	保護規制計画	- 6-
ア	特別地域	- 6-
(ア)	特別保護地区	- 7-
(イ)	第 1 種特別地域	- 11-
(ウ)	第 2 種特別地域	- 15-
(エ)	第 3 種特別地域	- 19-
イ	関連事項	- 23-
(ア)	採取等規制植物	- 23-
(イ)	普通地域	- 27-
ウ	面積内訳	- 29-
(ア)	地域地区別土地所有者別面積	- 29-
(イ)	地域地区別市町村別面積	- 30-
3	施設計画	- 31-
(1)	利用施設計画	- 31-
ア	集団施設地区	- 31-
イ	単独施設	- 39-
ウ	道路	- 48-
(ア)	車道	- 48-
(イ)	自転車道	- 52-
(ウ)	歩道	- 53-
4	参考事項	- 57-
(1)	過去の経緯	- 57-

1 基本方針

富士箱根伊豆国立公園（伊豆諸島地域）は、富士火山帯に属する火山列島の大島、利島、新島、式根島、神津島、三宅島、御蔵島、八丈島等の島しょ岩礁から成り、火山現象による地形、地質、植生に特色を有している。

本地域は昭和30年4月に「伊豆七島国立公園」に指定され、その後昭和39年7月に富士箱根伊豆国立公園に編入された。

本地域は、一部の集落地を除いて島しょのほぼ全域が公園区域に指定されており、公園の規制は、住民の生活に密接に関わっている。

一方、本公園を取り巻く社会情勢は、指定当時と比較すると、航路、空路の輸送力の増大、地元産業の発達等大きく変化してきており、観光依存度が高い状況となっている。また、公園の利用形態は、夏期における海水浴を中心に、ハイキング、魚釣等様々である。

このような公園区域内外の社会的状況を踏まえながら、火山列島に起因する風致景観の保全を図るとともに、適正な利用を推進するため、以下の方針により公園計画を定めるものとする。

（1）規制計画

ア．保護規制計画

（ア）特別保護地区

本地域を特徴づけている火山地形の代表的景観（大島三原山、神津島天上山、八丈富士等の各山頂部）、特異な海岸景観（御蔵島、利島、新島、神津島の海食崖）、動植物から見た貴重な自然（原生状態の照葉樹林、オオミズナギドリの群生地）等については、厳正な保護を図るため特別保護地区とする。

（イ）第1種特別地域

特別保護地区に隣接し、若しくは同地区に準じた火山山頂部周辺、海食崖及び貴重な植生があり、自然状態をよく保持している地区等を第1種特別地域とする。

（ウ）第2種特別地域

各島の山腹で島しょ景観構成要素の一部として保全を図る必要のある地区又は主要な展望対象地等で比較的自然状態をよく保持している地区等を第2種特別地域とする。

（エ）第3種特別地域

上記以外の地域で全般的な風致の維持を図る必要のある地区、農林業を認めながら乱開発を防ぐ地区等を第3種特別地域とする。

（オ）普通地域

陸域における普通地域は、集落地や景観的に特別地域の資質を失った地区とし、海域については、汀線より1km線界内とする。

（2）施設計画

ア．利用施設計画

本地域における公園利用形態は、火山及び島しょ景観の展望、ハイキング、探勝及び夏季を中心にした海水浴、キャンプ、磯遊び等の海浜レクリエーション、サイクリング等が中心となっているので、これらに対応した施設を適正に配置することとする。

2 規制計画

(1) 保護規制計画

ア. 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表1：特別地域総括表)

都 県 名	区 域	面 積 (ha)
東 京 都	大島町 あかた さしきじ せんづ のまし はぶみなと ちとまち 岡田、差木地、泉津、野増、波浮港及び元町の各一部	7,395
	利島村の一部	371
	新島村の一部	2,161
	神津島村内 国有林東京神奈川森林管理署 300 林班の一部 神津島村の一部	1,693
	御蔵島村の一部	1,907
	八丈町 あかごう かしたて すえよし なかのごう みつね 大賀郷、檜立、末吉、中之郷及び三根の各一部	5,481
	合 計	19,008

(ア) 特別保護地区
 次の区域を特別保護地区とする。

(表2：特別保護地区総括表)

都 県 名	区 域	面 積 (ha)
東 京 都	大島町 泉津 ^{せんづ} 及び野増 ^{のまし} の各一部	1,082
	利島村の一部	105
	新島村の一部	174
	神津島村の一部	240
	御蔵島村の一部	342
	八丈町 大賀 ^{おおか} 及び三根 ^{みつね} の各一部	20
	合 計	1,963

(表3：特別保護地区内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
大島三原山	東京都大島町 泉津及び野増の各一部	大島三原山は、日本でも有数の活火山であり、カルデラ内の噴火口、安永溶岩等の奇観及びその南東に広がる裏砂漠と呼ばれる火山荒原等他に類を見ない原始的自然景観を呈する地区である。	1,082
利島海食崖	東京都利島村の一部 (利島の一部)	利島前浜周辺部を除く海食崖部であり、オオミズナギドリの群棲地としても著名である。	105
新島海食崖	東京都新島村の一部 (新島の一部)	白ママ層と呼ばれる流紋岩により形成された白色に近い明るい海食崖の南部地区及びこれと生成を異にした北部地区の海食崖であり、新島の核心的な景観地域である。	108
新島属島	東京都新島村の一部 〔 鵜渡根島、 地内島及び 早島の全部並びに 付近の岩礁 〕	いずれも無人島で自然状態をよく保持しており、鵜渡根島はオオミズナギドリの、早島はカンムリウミスズメの繁殖地として著名である。	66
神津島天上山	東京都神津島村の一部 (神津島の一部)	トロイデ型山体の頂端部で湿地帯、火山性荒原等の地形景観を呈し、海岸性、高山性の植物が混在して分布している。	174
神津島海食崖	東京都神津島村の一部 〔 神津島の一部及び 付随の岩礁 〕	神津島の海岸線の中で、複雑に入りこんだ海食崖が発達しており、特異な景観を呈している。	45
神津島属島	東京都神津島村の一部 〔 恩馳島及び 祇苗島の全部並びに 付近の岩礁 〕	いずれも無人島で自然状態をよく保持しており、恩馳島はカンムリウミスズメの生息地として著名である。	21
御蔵島南部	東京都御蔵島村の一部 〔 御蔵島の一部及び 付近の岩礁 〕	本島は黒潮海流の中で最も強い流れをもつ部分に位置しているため、本島周囲約16km 全て海食崖から成り、湾入がまったくない島である。特に本島南部は浸食が激しく、最後部 480mにも達する日本一の海食崖が発達している。また、御山火口南部はツゲ、シイ等の原生林よりなり、ミヤケコゲラ、カラスバト等の生育地でもある。海食崖周辺はオオミズナギドリの繁殖地として著名である。	342

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
八丈富士火口	東京都八丈町 〔 大賀郷及び 三根の各一部 〕	西山（八丈富士）は、名のごとく、典型的な円錐型成層火山であり、伊豆諸島中の最高峰である。 その山頂火口部は、火口の中にできた数個の池と湿原、周囲にはヒメユズリハ、ヤマグルマを主として特異な植生景観を呈している。	20
合 計			1,963

(イ) 第1種特別地域
 次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都 県 名	区 域	面 積 (ha)
東 京 都	大島町 <small>あかた きしきじ せんづ のまし はぶみなと もとまち</small> 岡田、差木地、泉津、野増、波浮港及び元町の各一部	589
	利島村の一部	25
	新島村の一部	132
	神津島村内 国有林東京神奈川森林管理署 300 林班の一部 神津島村の一部	244
	御蔵島村の一部	182
	八丈町 <small>おおかごう かしたて すえよし なかのごう みつね</small> 大賀郷、檜立、末吉、中之郷及び三根の各一部	341
	合 計	1,513

(表5：第1種特別地域内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
大島海食崖	東京都大島町 国有林東京地域施業計画区 東京事業区 99 林班の一部 東京都大島町 岡田、差木地、泉津、野増、波浮港 及び元町の各一部並びに付近の岩 礁	大島の海岸線は、島の面積に比して、その延長は短く、湾入が少ないのが特徴である。この海岸線の各地に発達した海食崖の地区であり、海岸断崖植生がみられる。	194
大島奥山砂漠	東京都大島町 泉津の一部	広大な裏砂漠に連続し、火山植生が見られる荒原であり、自然度の高い地区である。	355
大島三原山 カルデラ壁南部	東京都大島町 野増の一部	大島三原山カルデラ壁南部頂端部の地形、景観を保全するため重要な地区である。	40
新島宮塚山	東京都利島村の一部 (利島の一部)	宮塚山の山頂部から南～東の山麓部にかけてのスタジイの原生林に広く被われた地区である。	25
新島北西部海食崖	東京都新島村の一部 〔新島の一部及び 付近の岩礁〕	新島北部に位置する黒い砂の若郷海岸と西部の白くて長い砂浜の前浜との間の海食崖の地区である。	20
新島宮塚山東部	東京都新島村の一部 (新島の一部)	宮塚山東側急斜面の原始性の高いスタジイ自然林が残存している地区である。	75
式根島海食崖	東京都新島村の一部 〔式根島の一部及び 付近の岩礁〕	式根島は、流紋岩質の溶岩からなるテーブル状の平坦な島であるが、その海岸線は波による浸食で小さな湾入が数多くあり、大部分は海食崖となっており、周辺の黒松林と調和し、式根松島とも呼ばれる景勝地である。	37
神津島海食崖	東京都神津島村内 国有林東京地域施業計画区 東京事業区 100 林班の一部	海食崖景観をよく残している地区である。	109

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
	東京都神津島村の一部		
神津島天上山外縁	東京都神津島村の一部	天上山山頂(特別保護地区)にみられる低木林とその北部のつづき堂、周辺の原始性の高い森林である。	135
御蔵島御山	東京都御蔵島村の一部 (御蔵島の一部)	御山、御代ヶ池一帯で、風衝草原地、シマキンレイカ群落等のみられる地区である。	182
八丈島、八丈小島 海食崖	東京都八丈町 大賀郷、檜立、末吉、中之郷及び三根の各一部 東京都八丈町の一部 〔八丈小島の一部並びに 八丈島及び八丈小島付近の岩礁〕	東山火山は有史以前に活動が終わり、その後浸食を受け、海食崖が周囲をとりまいて発達しており、入江は少ない。 また西山火山は、江戸時代まで噴火していたため、海食崖は少なく、海中に流れ込んだ溶岩が変化のある海岸線を作っているところもある(南原千畳敷)。 八丈小島も古い火山で、浸食は進んでいる。	168
八丈富士火口外縁	東京都八丈町 大賀郷及び三根の各一部	八丈富士山頂付近は、キリシマノガリヤスの草原が拡がり、中腹にかけてはヒサカキガクアジサイ、ジュウモンジシダ等の低木帯に移行している。	60
八丈三原山山頂	東京都八丈町 三根の一部	東山(三原山)は有史以前の活動が終わった玄武岩質の火山で、浸食を受けて谷が発達しており、西山にみられないスダジイ林が発達している。	113
合 計			1,513

(ウ) 第2種特別地域
 次の区域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都 県 名	区 域	面 積 (ha)
東 京 都	大島町 <small>あかだ きしきじ せんづ のまし はぶみなと もとまち</small> 岡田、差木地、泉津、野増、波浮港及び元町の各一部	1,798
	利島村の一部	241
	新島村の一部	668
	神津島村内 国有林東京神奈川森林管理署 300 林班の一部 神津島村の一部	213
	御蔵島村の一部	361
	八丈町 <small>おおかごう みつね</small> 大賀郷及び三根の各一部	476
	合 計	3,757

(表7：第2種特別地域内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
大島海岸部	東京都大島町 国有林東京地域施業計画区 東京事業区 99 林班の一部 東京都大島町 岡田、差木地、泉津、野増、波 浮港及び元町の各一部	大島沿岸のイソギク - ハチジョウススキ群集、クロマツ林等の地区であり、また、 碁石浜、野田浜をはじめ公園利用拠点でもある。	271
大島三原山東部	東京都大島町 差木地、泉津及び波浮港の各一 部	三原山東部の火山地形であり、オオシマザクラ - シロダモ群集、オオバヤシャブ シ - ハチジョウススキ群集、マサキ - トベラ群集、オオシマカンスゲ - スダジイ群 集等、種々の植生がみられる地区であり、大島集団施設地区を含む地区である。	1,471
大島三原山 カルデラ壁外縁	東京都大島町 岡田、泉津、野増及び元町の各 一部	カルデラ壁の北部外縁で、カオリウツギ、ハチジョウイタドリ、シマタヌキラン 等の植生がみられる地区である。	28
大島岳の平	東京都大島町 差木地の一部	大島南部にあるスコリア丘で、火山地形として特異な景観地である。	28
利島宮塚山山頂	東京都利島村の一部 (利島の一部)	スダジイの原生林の外側に位置して、ヤブツバキ林の広がる利島の代表的景観を なす地区である。	241
新島北部	東京都新島村の一部 (新島の一部)	新島北部は、伊豆諸島の安山岩～玄武岩系の島々と、流紋岩系の島々との交点に あたり、流紋岩の多い新島の中で唯一玄武岩砂礫層のある地区である。 ヤブツバキ林、タブの萌芽林がみられる。	98
新島宮塚山	東京都新島村の一部 (新島の一部)	宮塚山は、流紋岩類特有の粘り気のある溶岩によって作られた円頂丘である。ス ダジイ、タブの萌芽林が周囲一帯にみられる。また、和田浜海岸は、白く美しい砂 浜で、野営場、海水浴場としても利用されている。	299
新島東部海岸	東京都新島村の一部 (新島の一部)	羽伏浦海岸は、白い砂浜が長く直線状につづく、伊豆諸島随一の砂浜であり、そ の後背地には、クロマツ林、スダジイ、タブの萌芽林がある。	47
新島間々下浦	東京都新島村の一部	間々下海岸、白ママ層の海食崖及びマサキ - トベラ群集自然植生地からなり、自	22

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
	(新島の一部)	然度の高い地区である。	
新島南部	東京都新島村の一部 (新島の一部)	マサキ、トベラ、イソギク等の自然植生地である。	75
式根島西部	東京都新島村の一部 (式根島の一部)	スダジイ、タブ林、クロマツ風衝低木林等があり、特にクロマツ林は伊豆七島の中で最も美しく、すぐれた景観地である。	114
式根島東北部海食崖	東京都新島村の一部 (式根島の一部)	入江が数多くあり、美しい海岸線を見せている。	13
神津島西武海岸	東京都神津島村の一部 (神津島の一部)	名組湾、長浜、沢尻湾一帯及び前浜の一部の海岸線で、海岸植生やタブ、スダジイの自然林からなる地域である。	115
神津島天上山 山裾松山鼻	東京都神津島村の一部 (神津島の一部)	マサキ - トベラ群集、オオシマカンスゲ - スダジイ群集等の自然植生があり、また、多幸湾集団施設地区も含む地区である。	98
御蔵島御山中腹東部	東京都御蔵島村の一部 (御蔵島の一部)	スダジイ、オオシマカンスゲ、マサキ、トベラ、カオリウツギ、オオバヤシャブシ等の自然植生地である。	361
八丈富士中腹	東京都八丈町 大賀郷及び三根の各一部	ガクアジサイ - ラセイタタマアジサイ群集が多くみられる地区で、八丈富士の山体景観を構成する地区である。	157
八丈島神止山	東京都八丈町 三根の一部	西山の寄生火山の一つである神止山は、凝灰岩丘で、周辺のなだらかな地形の中から突出した景観をなしている。植生的にもスダジイの自然林があり貴重である。	46
八丈植物園	東京都八丈町 大賀郷の一部	スダジイ、ヒメユズリハ、タブノキ等を主体として萌芽再生林の中に南国性の植物が植栽されている。国立公園の中心的利用拠点でもある。	13
八丈小島	東京都八丈町の一部 (八丈小島の一部)	八丈島の最も古い火山に入り、現在無人島化している。八丈富士と対比した風景は美しい。	260
合 計			3,757

(工) 第3種特別地域
 次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都 県 名	区 域	面 積 (ha)
東 京 都	大島町 <small>あかだ さしきじ せんづ のまし</small> 岡田、差木地、泉津、野増及び元町 <small>もとまち</small> の各一部	3,926
	新島村の一部	1,187
	神津島村の一部	996
	御蔵島村の一部	1,022
	八丈町 <small>おおかごう かしたて すえよし なかのごう みつね</small> 大賀郷、檜立、末吉、中之郷及び三根の各一部	4,644
	合 計	11,775

(表9：第3種特別地域内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
大島海岸部	東京都大島町 岡田及び差木地の各一部	海食崖地形をなしている地区である。	11
大島三原山山麓	東京都大島町 岡田、差木地、泉津、野増及び元町の各一部	三原山中腹は、カオリウツギ、オオバヤシャブシの自然植生が分布し、山麓にかけては、オオシマザクラ、シロダモが群落をなしており、その中にスギ、ヒノキの植林地、農耕地等が点在している地区である。	3,915
新島阿土山	東京都新島村の一部 (新島の一部)	スギ、ヒノキ植林地、スダジイ、タブの萌芽林、耕作地等が混在する地区である。	179
新島宮塚山南部	東京都新島村の一部 (新島の一部)	スダジイ、タブの萌芽林が主体となった樹林地であり、スギ、ヒノキの植林地が点在する地区である。	233
利島前浜	東京都新島村の一部 (新島の一部)	和田浜海岸から連続する砂浜である。	8
新島向山	東京都新島村の一部 (新島の一部)	新島南部の平らな山頂をもつ向山は、流紋岩の溶岩で、抗火石の産地である。植生はスダジイ、タブの萌芽林中にスギ植林地が点在する。	698
式根島中央部	東京都新島村の一部 (式根島の一部)	スダジイ、タブ萌芽林、オオバヤシャブシ、ヤブツバキ、クロマツ等の植林が混在する地区である。	69
神津島北部	東京都神津島村の一部 (神津島の一部)	スダジイの自然林の中に、スギ、ヒノキの植林地が点在する地区である。	618
神津島南部	東京都神津島村の一部 (神津島の一部)	高処山、秩父山付近には、スダジイの自然林があるが、その他は、萌芽林や畑地となっている地区である。	378
御蔵島御山山麓	東京都御蔵島村の一部 (御蔵島の一部)	スダジイ、タブ、マサキ、トベラ等、常緑広葉樹の自然林が比較的良好に残されている地区である。	1,022
八丈富士山麓	東京都八丈町 大賀郷及び三根の各一部	中腹部にはヒサカキ、ガクアジサイが群落をなし、山麓には、タブ、ヤブニッケイの萌芽林が景観の主体となっており、その中に、放牧地、落葉広葉二次林、畑地等が散在している。	1,658

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
八丈三原山山麓	東京都八丈町 大賀郷、檜立、末吉、中之郷及び三根の各一部	全体として、スタジイ、タブの萌芽林が広がっており、中腹にスギ、ヒノキが部分的に植林され、山麓には、畑地が広がっている。 また、北部沢筋には、当地が北限のヘゴが自生している。	2,986
合 計			11,775

イ．関連事項

(ア)採取等規制植物

特別地域において採取又は損傷を規制する植物は次のとおりである。

(表 10：採取等規制植物表)

科 名	種 名 (ミズゴケ科の植物にあつては属名)
ミズゴケ	ミズゴケ
ヒカリゴケ	ヒカリゴケ
シオグサ	フジマリモ
マツバラン	マツバラン
ヒカゲノカズラ	ミズスギ、ヒメスギラン、スギラン、ナンカクラン、マンネンスギ、コスギラン、
イワヒバ	ヒモラン
ハナヤスリ	ヒメタチクラマゴケ、イワヒバ
リュウビンタイ	ミヤマハナワラビ、ヒメハラワナビ
ゼンマイ	リュウビンタイ
コケシノブ	シロヤマメンマイ
イノモトソウ	オニコケシノブ、(オオコケシノブ)、オオハイハラゴケ
オシダ	ミヤマウラジロ、ユノミネシダ(カナヤマシダ)、エダウチホングウシダ、サイコクホングウシダ、ハチジョウシダ、ハチジョウシダモドキ
シシガシラ	オトコシダ、ナンタイシダ、ミドリカナワラビ、ハカタシダ、ナヨシダ、ミヤマノコギリシダ、ヒロハツイタ、ウサギシダ、アオキガハラウサギシダ、エビラシダ、トヨグチイノデ、オオキヨズミシダ、コガネシダ
チャセンシダ	ハイコモチシダ、(ジョウレンシダ)
ウラボシ	オオタニワタリ、ヒノキシダ、チャセンシダ、イヌチャセンシダ、クルマシダ、クモノスシダ
シシラン	スジヒトツバ、イワヒトデ、シンテンウラボシ、ヒトツバイワヒトデ、タカノ
ツチトリモチ	ハウラボシ、ミヤマウラボシ、ナガバコウラボシ、イズクリハラン、コウラボシ、イワモダカ、オオクボシダ
タデ	タキミオシダ、シシラン、ナカミシシラン
ナデシコ	ミヤマツチトリモチ
キンポウゲ	ハルトラノオ、ムカゴトラノオ、オランダテ
	フジナデシコ、シナノナデシコ、ワチガイソウ、ワダソウ、ヒゲネワチガイ、イワツメクサ
	ハコネトリカブト、オオサワトリカブト、レイジンソウ、イヌハコネトリカブト、ホソバトリカブト、タカネトリカブト、イチリンソウ、キクザキイチリンソウ、コキクザキイチリンソウ、アズマイチゲ、レンゲショウマ、リュウキンカ(エンコウソウ)、ミヤマハンショウズル、(コミヤマハンショウズル)、カザグルマ、トリガタハンショウズル、シロバナハンショウズル、バйкаオウレン、ミツバオウレン、セツブンソウ、ハコネシロカネソウ、シロカネソウ(ツルシロカネソウ)、トウゴクバノオ、オキナグサ、ゲンナイキンポウゲ、アカギキンポウゲ、ヒノキカサ(コキンポウゲ)、ミヤマカラマツ、ヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤク
スイレン	ヒツジグサ
ウマノスズクサ	ランヨウアオイ、カギガタアオイ、カントウカンアオイ(カンアオイ)、シイノミカンアオイ、アマギカンアオイ、オトメアオイ、ウスバサイシン(サイシ

オトギリソウ	ン)シモダカンアオイ
モウセンゴケ	フジオトギリ、コオトギリ
アブラナ	イシモチソウ、モウセンゴケ
ベンケイソウ	ミヤマハタザオ、フジハタザオ、イワハタザオ
ユキノシタ	マツノハマンネンギグサ、イワベンケイ、チチッパベンケイ、アオベンケイ
バラ	ハナチダケサシ、ヒトツバシヨウマ、フジアカシヨウマ、ハチジョウシヨウマ、 ハナネコノメ、ムカゴネコノメ、ウメウツギ、アマギアマチャ、チャルメルソ ウ、シラヒゲソウ、ウメバチソウ(コウメバチソウ)、ヤワタソウ、ヤシャビ シャク、トガスグリ、ジンジソウ、ダイヤモンドソウ(ウチワダイヤモンドソウ) イズノシマダイヤモンドソウ、クロクモソウ、イワユキノシタ
マメ	シモツケソウ、(アカバナシモツケソウ)、シロバナノヘビイチゴ(モリイチゴ)、
フウロソウ	イワキンバイ、ミネザクラ(チシマザクラ)タカネイバラ、サンショウバラ、 オヤマシモツケ、イワシモツケ
トウダイグサ	ムラサキモメンズル、タイツリオオギ、イワオオギ
ジンショウゲ	グンナイフウロ(タカネグンナイフウロ)イヨフロウ(シコクフロウ)、カイ フウロ、アサマフウロ、コフウロ
グミ	イワタイゲキ、タカトウダイ(フジタイゲキ)
スマレ	サクラガンビ
アカバナ	ハコネグミ
ミズキ	キバナノコメノツメ、エゾアオイスミレ(マルバケスミレ)、テリハタチツボ スミレ、コミヤマスミレ、キスミレ、ミヤマスミレ、シコクスミレ(ハコネス ミレ)、ヒメスミレサイシン
ウコギ	ヤナギラン、ヒメアカバナ
セリ	ゴゼンタチバナ
イワウメ	ウラジロウコギ
イチヤクソウ	イワニンジン、ミシマサイコ、イブキゼリ、ミヤマニンジン、ヤマナシウマノ ミツバ、シラネニンジン
ツツジ	ヒメイワカガミ、ヤマイワカガミ、イワカガミ(コイワカアガミ、オオイワカ ガミ)
サクラソウ	ウメガサソウ、シャクジョウショウ、ギンリョウソウモドキ(アキノギンリョ ウソウ)、ギンリョウソウ、コバノイチヤクソウ、ベニバナイチヤクソウ(ベ ニイチヤクソウ)、マルバノイチヤクソウ、コイチヤクソウ
リンドウ	イワヒゲ、ドウダンツツジ、ヒロハドウダンツツジ、イワナンテン、ウスギヨ ウラク、ムラサキツリガネツツジ、ツガザクラ、アマギツツジ、ハクサンシャ クナゲ(シロバナシャクナゲ、ネモトシャクナゲ)、ミツバツツジ、レンゲツ ツジ(キレンゲ)、オオシマツツジ、ヒカゲツツジ、キヨスミミツバツツジ、 アズマシャクナゲ、シロヤオシ(ゴヨウツツジ)ウンゼンツツジ、アシタカツ ツジ、トウゴクミツバツツジ、サラサドウダン、ベニサラサドウダン、チチブ ドウダン、ハコネコメツツジ、コケモモ
ガガイモ	クリンソウ、コイワザクラ、クモイコザクラ(キヨサトコザクラ)、サクラソ ウ、ツマトリソウ
アカネ	リンドウ、ホソバリンドウ、ハルリンドウ、ハナイカリ、ホソバツルリンドウ、 ソナレセンブリ、ムラサキセンブリ、シノノメソウ、イヌセンブリ
	クサタチバナ
	ツルアリドウシ、ヒロハコンロンカ
	ムラサキ

ムラサキ	イワダレソウ
クマツツラ	カイジンドウ、アシタカジャコウソウ、シモバシラ、ヤマジオウ
シソ	アオホオズキ(タカホオズキ)
ナス	ハチジョウコゴメグサ、イズコゴメグサ、ヤマウツボ(ケヤマウツボ)、ハン
ゴマノハグサ	カイシオガマ、トモエシオガマ、ヒメトラノオ、ヤマトラノオ、クガイソウ
イワタバコ	イワタバコ、シシンラン
ハマウツボ	オニク、オカウツボ、キヨスミウツボ
タヌキモ	ミミカキグサ、フサタヌキモ、ホザキノミミカキグサ、ムラサキミミカキグサ
スイカズラ	ベニバナツクバナウツギ、コハクサンボク、キバナウツギ
オミナエシ	コキンレイカ(ハクサンオミナエシ)シマキンレイカ、キンレイカ
マツムシソウ	マツムシソウ、ソナレマツムシソウ
キキョウ	フクシマシャジン、ヒメシャジン、イワギキョウ、ヤマホタルブクロ、ツルギ
キク	キキョウ、サワギキョウ、タニギキョウ、キキョウ
	エンシュウハグマ、タカネヤハズハハコ、ミヤマオトコヨモギ、タテヤマギク、
	キントキシロヨメナ、サワシロギク、ハコネギク(ミヤマコンギク)、タカネ
	ニガナ、ウスココソウ、マルダバケブキ、オタカラコウ、ハンカイソウ、カイ
	タカラコウ、ユウシュウヒゴタイ、ミヤコアザミ、キントキヒゴタイ、ヒメヒ
	ゴタイ、カイトウヒレン、ヤハズトウヒレン、トゲキクアザミ、コウリンカ、
	サワオグルマ、ミヤマアキノキリンソウ、(コガネギク、キリガミネアキノキ
	リンソウ)、キツネタンポポ
	ネバリノギラン、ソクシンラン、イズアサズキ、ツバメオモト、スズラン、カ
ユリ	タクリ、カイコバイモ、キバナノアマナ、ショウジョウバカマ、キスゲ(ユウ
	スゲ)、ハマカンゾウ、イワギボウシ、ハチジョウギボウシ、ヤマユリ、サク
	ユリ、ササユリ、コオニユリ、クルマユリ、ホソバナノアマナ、ノシラン、クルマ
	バツクバネソウ、ワニグチソウ、ヤマトユキザサ(オオバユキザザ)、チャ
	ボゼキショウ(ハコネハナゼキショウ)、エンレイソウ、ミヤマエンレイソウ
	(シロバナエンレイオウ)、アマナ、ヒロハマアマナ
	ナベワリ
ビャクブ	ハマオモト(ハマユウ)
ヒガンバナ	イズドコロ
ヤマノイモ	カキツバタ
アヤメ	ヒナノシャクジョウ
ヒナノシャクジョウ	イトイ、タカネスズエノヒエ、(ミヤマスズメノヒエ)
イグサ	ミヤマヌカボ、タカネコウボイウ、シマノガリヤス(キリシマノガリヤス)
イネ	タカネウシノケグサ、ミサマヤチャヒキ、フォーリーガヤ(ミヤマチャヒキ)
	シマテンナンショウ、ハチジョウテンナンショウ、ミツバテンナンショウ、ナ
サトイモ	ガバマムシグサ、スルガテンナンショウ、カミヤマテンナンショウ
カヤツリグサ	カヤツリスゲ、シマタヌキラン、ハチジョウカンスゲ、コハリスゲ、ヒトモト
	ススキ
ラン	ナゴラン、ミスズラン、シラン、マメズタラン(マメラン)、ムギラン、エビ
	ネ、ニオイエビネ(オオキリシマエビネ)、ナツエビネ、シソエビネ、サルメ
	ンエネ、ホテイラン、ギンラン、キンラン、ササバギンラン、アオチドリサイ
	ハイラン、シュラン、(ホクロ)、ナギラン、マヤラン(サガミラン)、コア
	ツモリ、クマガイソウ
	アツモリソウ、キバナノアツモリソウ、イチョウラン、セッコク、サアワラン
	(アサヒラン)コイチョウラン、ハコネラン、アオスズラン(エゾスズラン)

	カキラン、オサラン、オニノヤガラ、ナヨテンマ、ヒメテンマ、アケボノシュスラン、サチジョウシュスラン、ヒメミヤマウズラ、ミヤマウズリ、フジチドリ、オオミズトンボ(サワトンボ)、サギソウ、ミズトンボ、ムカゴソウ、ムヨウラン、ギボウシラン、シマササバラン、セイタカスズムシ、ジガバチソウ、クモキリソウ、スズムシソウ、コクラン、フタバラン(コフタバラン)、アオフタバラン、タカネフタバラン、ホザキイチヨウラン、ニラバラン、アリドウシラン、フウラン、ヒメムヨウラン、サカネラン、ヨウラクラン、ヒナチドリ、カモメラン(カモメソウ)、オノエラン、ウチョウラン、コケイラン、ガンゼキラン、タカネトンボ、ジンバイソク、ミウチドリ、ツレサギソウ、ヤマサキソウ、ハチジョウチドリ、マイサギソウ、オオバノトンボソウ、コバノトンボソウ、ハチジョウツレサギ、キソチドリ、オオヤマサギソウ、オオバナオオヤマサギソウ(フガクオオヤマサギソウ)、ミヤマチドリ(ニッコウチドリ)、ホソバノキソチドリ、トキソウ、ヤマトキソウ、カシノキラン、ベニカヤラン(マツラン)、カヤラン、クモラン、ヒトツボクワ、イイヌマムカゴ、トンボソウ、ハクウンラン、キバナノショウキラン、ショウキラン
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(イ)普通地域

普通地域の区域は次のとおりである。

(表 11：普通地域表)

都 県 名	区 域	面 積 (ha)
東 京 都	大島町 あかた、さしきじ、せんづ、のまし、はぶみなと、ちとまち 岡田、差木地、泉津、野増、波浮港及び元町の各一部	1,452
	利島村の一部	34
	新島村の一部	475
	神津島村の一部	102
	御蔵島村の一部	46
	八丈町 あかごう、かしたて、すえよし、なかのごう、みつね 大賀郷、榎立、末吉、中之郷及び三根の各一部	1,199
陸域合計		3,308
陸域の公園区域の地先海面の一部		23,300
	合 計	26,608

ウ．面積内訳

(ア) 地域地区別土地所有者別面積

(表 12: 地域地区別土地所有者別面積総括表)

(単位: 面積 ha、比率%)

地域区分		特別地域											普通地域(陸域)			合計(陸域)			海域公園地区	普通地域(海域)	合計(海域)			
		特別保護地区			第1種特別地域			第2種特別地域			第3種特別地域													
土地所有者別		国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私	国	公	私					
東京都	土地所有別面積	0 (0.3)	1,963	0	217	1,191	105	33	2,549	1,175	180	3,554	8,041	81	461	2,766	511	9,718	12,087	-	23,300	23,300		
	地種区分別面積 (比率)	1,963 (8.8)			1,513 (6.8)			3,757 (16.8)			11,775 (52.8)			3,308 (14.8)			22,316 (100)							
	地域地区別面積 (比率)												17,045 (76.4)											
	地域別面積 (比率)												19,008 (85.2)											
合計(陸域・海域)																	45,616							

(注) 三宅村を除く

(イ) 地域地区別市町村別面積

(表 13 : 地域地区別市町村別面積総括表)

(単位 : 面積 ha)

市町村名	地域地区	特 別 地 域					普通地域 (陸域)	合計 (陸域)	海域公園地区	普通地域 (海域)	合計 (海域)	合計 (陸域・海域)
		特保	第1種	第2種	第3種	小計						
東京都	大島町	1,082	589	1,798	3,926	7,395	1,452	8,847	-	23,300	23,300	45,616
	利島村	105	25	241	0	371	34	405				
	新島村	174	132	668	1,187	2,161	475	2,636				
	神津島村	240	244	213	996	1,693	102	1,795				
	御蔵島村	342	182	361	1,022	1,907	46	1,953				
	八丈町	20	341	476	4,644	5,481	1,199	6,680				
	(三宅村)	(371)	(560)	(1,288)	(2,520)	(4,739)	(444)	(5,183)				
合 計 ()内は三宅村を含む	1,963 (2,334)	1,513 (2,073)	3,757 (5,045)	11,775 (14,295)	19,008 (23,747)	3,308 (3,752)	22,316 (27,499)	-	23,300	23,300	45,616	

3 施設計画

(1) 利用施設計画

利用施設計画は次のとおりである。

ア. 集団施設地区

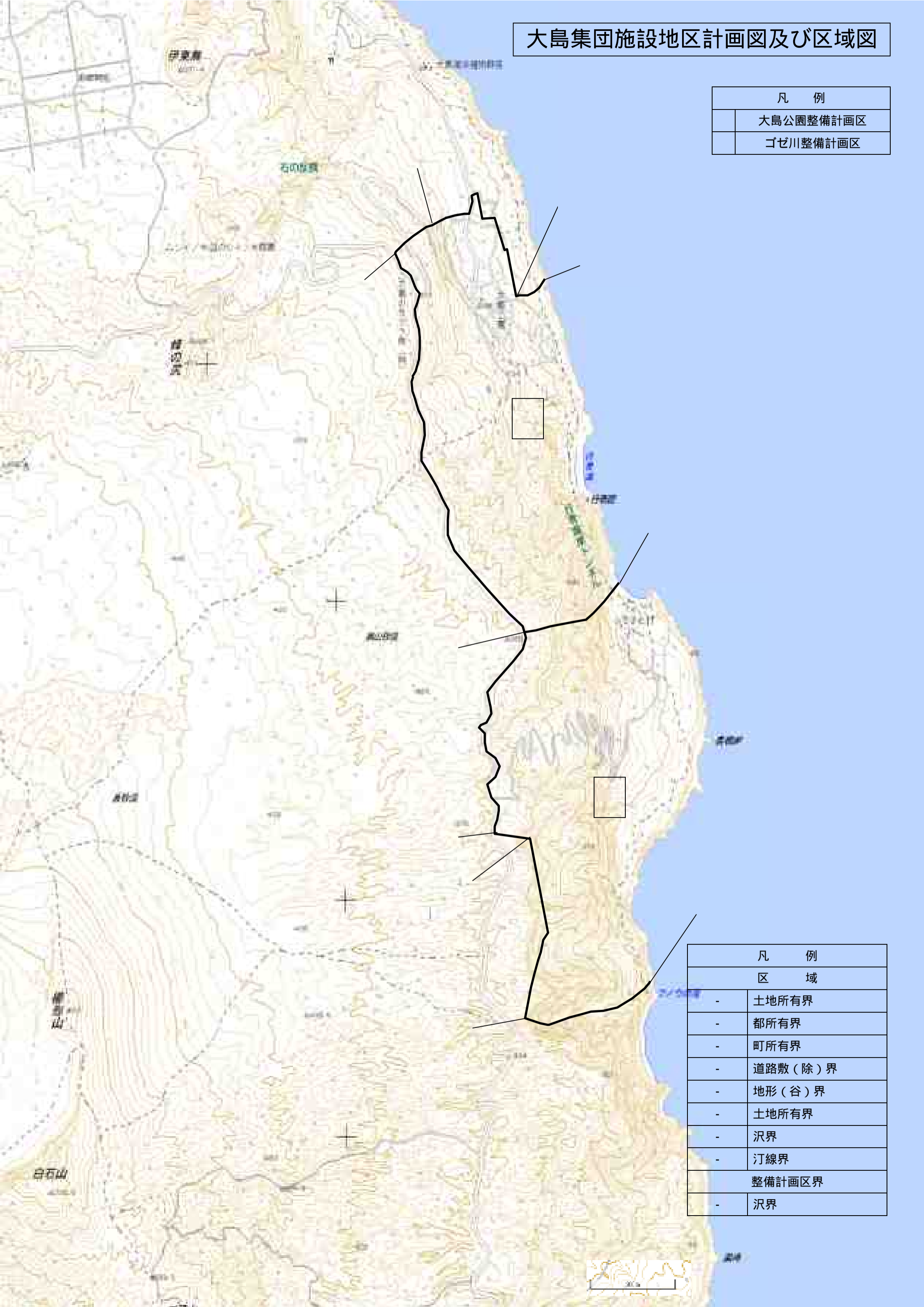
集団施設地区を次のとおりとする。

(表 14: 集団施設地区表)

番号	名称	区 域	計 画 目 標	整備計画区及び基盤施設	整 備 方 針	面積(ha)	旧計画との関係
1	大 島	東京都大島町泉津及び差木地の一部	<p>当該地区は、大島東部に位置し、房総半島が望める好展望地である。高さ300mに及ぶ海蝕崖と溶岩流が一体となった海岸景観や、ヤブツバキ、スダジイなどの常緑広葉樹林にクロマツ林、オオシマザクラが混生する森林景観など優れた自然環境を特質としている。</p> <p>これらの立地条件を活かし、自然探勝や自然教育、野外レクリエーション、キャンプなどを中心とした滞在型の利用拠点として整備する。</p>	大島公園整備計画区	大島園地を中心とした計画区で、大島の景観を特徴づけるヤブツバキ、スダジイ等の既存植生を保全しつつ、自然探勝や自然教育、野外レクリエーション利用の拠点として、椿園、自然動物園等を拡充整備する。 また、火山活動により生じた溶岩塊、洞窟などの特異な火山現象の探勝や三原山への登山等の利用拠点としてビジターセンターや駐車場、園路、広場等を整備する。	172.3	一般計画 昭39.7.7 区域指定及び詳細計画決定 昭53.5.30 再検討 昭59.5.26
				ゴゼ川整備計画区	ゴゼ川を中心として計画区で、水源の保全に配慮しつつ、海岸に面した滞在型の利用拠点としてセントラルロッジ、ケビン、テントサイト等を設ける他、プール、テニスコート等の運動施設も併せて整備する。 また、海岸際の風衝低木林内に海洋景観の展望や磯の探勝を行う園路整備をする他、海浜利用のための小規模な係留施設を整備する。 さらに、大島公園計画区に整備するビジターセンターと連携を図り、自然体験学習のための関連施設を整備する。	199.9	区域拡張及び詳細計画変更 平5.7.19
				道路(歩道)	大島公園計画区とゴゼ川計画区を連絡するとともに、地区内の施設の利用及び自然探勝のための歩道として整備する。		
				給水施設	地区内の施設を給水するため、フノウの滝等を水源とする給水施設を整備する。		
				面 積 計			
				国	公	私	
				0	337.2	35.0	
				372.2			

大島集団施設地区計画図及び区域図

凡 例	
	大島公園整備計画区
	ゴゼ川整備計画区



凡 例	
区 域	
-	土地所有界
-	都所有界
-	町所有界
-	道路敷(除)界
-	地形(谷)界
-	土地所有界
-	沢界
-	汀線界
整備計画区界	
-	沢界

番号	名称	区 域	計 画 目 標	整備計画区及び基盤施設	整 備 方 針	面積 (ha)	旧計画との関係				
2	たこうわん 多幸湾	東京都神津島村 国有林東京神奈川森林管理署 300林班の一部 東京都神津島村の一部	<p>当該地区は、神津島の南東海岸部に位置し、北部は天上山から海岸にかけてヤブツバキ、スタジイ等の自然林が分布しており、また地区の中央部の南部には、白砂の砂浜や変化に富んだ海岸線を有する良好な自然環境に恵まれている。</p> <p>このため、これらの立地環境を生かし、キャンプや海水浴、自然探勝等の利用を中心とした滞在型の利用拠点として整備する。</p>	たこうわん 多幸湾 整備計画区	<p>当該計画は天上山の探勝及び多幸浜での海水浴のための滞在拠点として、中央部には、テントサイト、ケビン、炊事棟等の野営施設を充実、整備するとともに、滞在利用の促進のため、多目的広場やテニスコート等の運動施設を拡充、整備する。</p> <p>また、自然教育、自然体験利用を促進するための拠点施設としてビジターセンターを整備するとともに、南部の海岸線には、良好な海岸線の風致に配慮しつつ、自然探勝のための遊歩道等を整備する。</p> <p>なお、快適な海水浴利用を推進するため、多幸浜の入口部分には、園地、休憩所等の拡充、整備を図る。</p>	29.5	<p>区域指定及び詳細計画決定 昭 59. 5 .26</p> <p>詳細計画変更 平 5 . 7 .19</p>				
								面 積 計	国	公	私
									1.5	26.3	1.7
					29.5						

多幸湾集团施設地区計画図及び区域図



凡 例	
区 域	
-	土地所有別 (村・私) 界
-	旧国有林境界
-	権利制限 (農業振興地域) 界
-	道路 (都道) 界
-	道路 (歩道) 界
-	土地所有別 (国・村) 界
-	地形 (崖上線) 界
-	権利制限 (漁港区域) 界
-	土地所有別 (村有地) 界
-	道路 (都道) 界
-	地形 (沢) 界
-	土地所有別 (村・神社) 界
-	旧国有林境界



イ．単独施設

単独施設は次のとおりとする。

(表 15：単独施設表)

番号	種 類	位 置	整 備 方 針	告示年月日
1	園 地	東京都大島町(碓石浜)	サイクリング、ハイキング利用者のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
2	園 地	東京都大島町(野田浜)	サイクリング、ハイキング、海水浴利用者のための休憩、展望園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
3	園 地	東京都大島町(秋の浜)	海水浴利用者のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
4	野 営 場	東京都大島町(秋の浜)	海水浴利用者を主な対象とした野営場として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
5	園 地	東京都大島町(泉浜)	サイクリング、ハイキング、海水浴利用者のための休憩、展望園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
6	宿 舎	東京都大島町(湯場)	三原山自然探勝及び保養のための宿泊基地として、整備する。	昭 59. 5 .26 告示
7	宿 舎	東京都大島町(余背)	三原山自然探勝及び保養のための宿泊基地として、整備する。	昭 59. 5 .26 告示
8	園 地	東京都大島町(御神火茶屋)	大島三原山登山の基地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
9	乗馬施設	東京都大島町（御神火茶屋 ^{ごじんかぢゃや} ）	大島三原山登山利用者のための乗馬施設を整備する。	昭 59. 5 .26 告示
10	園地	東京都大島町（火口茶屋 ^{かこうぢゃや} ）	三原山火口探勝利用者の休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
11	園地	東京都大島町（オタイネ浜）	海水浴、探勝利用者のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
12	園地	東京都大島町（干波 ^{せんぱ} ）	海水浴、探勝利用者のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
13	宿舎	東京都大島町（干波 ^{せんぱ} ）	大島南西部の宿泊基地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
14	野営場	東京都大島町（干波 ^{せんぱ} ）	海水浴、自然探勝利用者のための野営場として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
15	運動場	東京都大島町（干波 ^{せんぱ} ）	宿泊休養型利用者を主にした野外運動施設を整備する。	昭 59. 5 .26 告示
16	園地	東京都大島町（トウシキ）	芝生地、海浜植物群落を活かした、散策、ピクニック、休憩、展望等が楽しめる大規模園地とし、大島南部の利用拠点として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
17	野営場	東京都大島町（トウシキ）	磯遊び、自然探勝、ハイキング等の利用者のための野営場として整備する。	昭 59. 5 .26 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
18	園地	東京都利島村(南ヶ山) ^{みなみがやま}	ハイキング利用者のための展望、休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
19	園地	東京都新島村(若郷) ^{わかごう}	海水浴、探勝利用者のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
20	園地	東京都新島村(和田浜) ^{わたはま}	海水浴、自然探勝、キャンプ、野外スポーツ等の利用者のための園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
21	野営場	東京都新島村(和田浜) ^{わたはま}	海水利用者を主とした野営場として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
22	園地	東京都新島村(新島宮塚山) ^{にいしまみやつかやま}	ハイキング利用者のための展望、休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
23	園地	東京都新島村(羽伏浦) ^{はぶしうら}	自然探勝、野外スポーツ、海水浴、サイクリング等の利用拠点として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
24	園地	東京都新島村(本村前浜) ^{ほんそんまえはま}	海水浴、探勝利用者のための休憩園地とする。	昭 59. 5 .26 告示
26	園地	東京都新島村(青峰山) ^{あおみねやま}	展望、休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
27	園地	東京都新島村(間々下) ^{まました}	自然探勝、海水浴利用者のための園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
28	園地	東京都新島村（泊 ^{とまり} ）	海水浴、自然探勝利用者のための園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
29	園地	東京都新島村（大浦 ^{おおうら} ）	海水浴、自然探勝、キャンプの利用者のための園地として、式根島北部の利用拠点として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
30	野営場	東京都新島本村（大浦 ^{おおうら} ）	海水浴利用者のための野営場として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
31	園地	東京都新島本村（釜 ^{かま} の下 ^{した} ）	海水浴、自然探勝、キャンプの利用者のための園地として、式根島南部の利用拠点として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
32	野営場	東京都新島本村（釜 ^{かま} の下 ^{した} ）	海水浴利用者のための野営場として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
33	園地	東京都新島本村（地鉦 ^{じなだ} ）	海水浴、温泉利用者のための休憩、展望園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
34	園地	東京都神津島村（長浜 ^{ながはま} ）	海水浴、自然探勝、キャンプ等の利用者のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
35	野営場	東京都神津島村（長浜 ^{ながはま} ）	海水浴利用者のための野営場として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
36	園地	東京都神津島村（沢尻 ^{さわじり} ）	海水浴、自然探勝、キャンプ等の利用者のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
37	野営場	東京都神津島村(沢尻 <small>さわじり</small>)	海水浴利用者のための野営場として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
38	園地	東京都神津島村(天上山 <small>てんじょうざん</small>)	登山者のための休憩、展望園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
39	園地	東京都神津島村(神津前浜 <small>こうづまえはま</small>)	海水浴利用者のための休憩地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
40	園地	東京都御蔵島村(大島分川 <small>おおしまわけがわ</small>)	探勝のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
41	園地	東京都御蔵島村(南郷 <small>なんごう</small>)	探勝のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
42	園地	東京都御蔵島村(黒崎高尾山 <small>くろさきたかおさん</small>)	探勝のための休憩園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
43	宿舎	東京都八丈町(三根 <small>みつね</small>)	探勝、保養のための宿泊基地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
44	宿舎	東京都八丈町(大賀郷 <small>おおかごう</small>)	探勝、保養のための宿泊基地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
45	園地	東京都八丈町(南原 <small>なんばら</small>)	探勝のための休憩、展望園地として整備する。	昭 59. 5 .26 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
46	園地	東京都八丈町（大瀉浦 ^{おおがたうら} ）	探勝のための休憩、展望園地として整備する。	昭59.5.26告示
47	植物園	東京都八丈町（八丈植物園）	地域の植物を観察するための施設として整備する。	昭59.5.26告示
48	園地	東京都八丈町（底土 ^{そこど} ）	海水浴、自然探勝等の利用者のための園地として整備する。	昭59.5.26告示
49	野営場	東京都八丈町（底土 ^{そこど} ）	海水浴、磯遊びの利用者のための野営場として整備する。	昭59.5.26告示
50	園地	東京都八丈町（八丈三原山）	登山利用者のための展望、休憩園地として整備する。	昭59.5.26告示
51	園地	東京都大島町（仲の原 ^{なかほら} ）	大島北西海岸における休憩及び展望のための園地として整備する。	平5.7.19告示
52	園地	東京都大島町（元町 ^{もとまち} ）	大島西海岸に面したツバキ林内に休憩及び展望のための園地として整備する。	平5.7.19告示
53	園地	東京都大島町（三原山中腹）	大島三原山中腹の溶岩流を探勝する園地として整備する。	平5.7.19告示
54	園地	東京都新島村（宮塚山中腹 ^{みやづかやま} ）	新島西海岸を展望する園地として整備する。	平5.7.19告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
55	園地	東京都八丈町（大越 ^{おおごし} ）	八丈小島を展望する園地として整備する。	平 5 . 7 . 19 告示
56	園地	東京都八丈町（登籠 ^{のぼりょう} ）	八丈富士を展望する園地として整備する。	平 5 . 7 . 19 告示
57	博物展示施設	東京都八丈町（八丈植物公園）	八丈島の自然解説等の拠点施設として整備する。	平 5 . 7 . 19 告示
58	園地	東京都大島町（ヨウゴシ岬）	ヨウゴシ岬海岸の展望地・自然探勝等のための園地として整備する。	平 14 . 8 . 15 告示
59	園地	東京都大島町（原野 ^{げんや} ）	三原山の砂漠地帯を探勝するための基地として整備する。	平 14 . 8 . 15 告示
60	園地	東京都大島町（王の浜 ^{おう はま} ）	王の浜の海水浴利用者のための休憩園地として整備する。	平 14 . 8 . 15 告示
61	園地	東京都大島町（砂の浜 ^{さ はま} ）	砂の浜の海水浴・探勝利用者のための休憩園地として整備する。	平 14 . 8 . 15 告示
62	園地	東京都大島町（差木地 ^{さしきじ} ）	差木地海岸の展望地・自然探勝等のための園地として整備する。	平 14 . 8 . 15 告示
63	園地	東京都利島村（ウスイゴウ）	宮塚山 ^{みやづかやま} へのハイキング利用者のための展望・休憩園地として整備する。	平 14 . 8 . 15 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
64	野営場	東京都新島村（羽伏浦） <small>はぶしゅうら</small>	羽伏浦の海水浴・自然探勝等の利用者のための野営場として整備する。	平 14. 8 .15 告示
65	園地	東京都神津島村（赤崎） <small>あかさき</small>	赤崎海岸の展望地・自然探勝のための園地として整備する。	平 14. 8 .15 告示
66	園地	東京都御蔵島村（長滝山） <small>ながたきやま</small>	長滝山及び御山へのハイキング利用者のための展望・休憩園地として整備する。	平 14. 8 .15 告示
67	博物展示施設	東京都御蔵島村（黒崎高尾） <small>くろさきたかお</small>	御蔵島の自然解説等の拠点施設として整備する。	平 14. 8 .15 告示
68	野営場	東京都八丈町（大瀉浦） <small>おおがたうら</small>	大瀉浦の海水浴、自然探勝のための野営場として整備する。	平 14. 8 .15 告示
69	園地	東京都八丈町（大賀郷） <small>おおがこう</small>	八丈島における自然ふれあいのための拠点施設として整備する。	平 14. 8 .15 告示
70	野営場	東京都八丈町（大賀郷） <small>おおがこう</small>	八丈島における自然ふれあいのための拠点施設として整備する。	平 14. 8 .15 告示
71	園地	東京都八丈町（横間） <small>よこま</small>	横間海岸の海水浴利用者のための園地として整備する。	平 14. 8 .15 告示
72	園地	東京都八丈町（汐間） <small>しおま</small>	汐間海岸の海水浴、自然探勝のための休憩園地として整備する。	平 14. 8 .15 告示

番号	種類	位置	整備方針	告示年月日
73	園地	東京都八丈町（乙千代ヶ浜 ^{おっちょがはま} ）	乙千代ヶ浜 ^{おっちょがはま} の海水浴利用者のための園地として整備する。	平 14. 8 .15 告示
74	野営場	東京都八丈町（中之郷 ^{なかのごう} ）	中之郷 ^{なかのごう} の海水浴・自然探勝の利用者のための野営場として整備する。	平 14. 8 .15 告示

ウ．道路

(ア) 車道

車道は次のとおりとする。

(表 16 : 道路 (車道) 表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	大島循環線	起点 - 東京都大島町 (元町・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (野増・国立公園境界) 起点 - 東京都大島町 (野増・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (差木地・国立公園境界) 起点 - 東京都大島町 (差木地・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (波浮港・国立公園境界) 起点 - 東京都大島町 (波浮港・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (泉津・国立公園境界) 起点 - 東京都大島町 (泉津・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (岡田・国立公園境界) 起点 - 東京都大島町 (岡田・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (元町・国立公園境界)	地層切断面 オタイネ浜 大島集団施設 地区	海岸部に散在する公園利用拠点を結ぶ幹線道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の 変更 (区間の変更)
2	大島横断線	起点 - 東京都大島町 (岡田・車道分岐点) 起点 - 東京都大島町 (愛宕山・車道分岐点) 終点 - 東京都大島町 (大島公園・車道分岐点)	湯場	三原山山頂部への登山道路として、また大島集団施設地区への到達道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
3	湯場 外輪山 せん 線	起点 - 東京都大島町 (湯場・車道分岐点) 終点 - 東京都大島町 (余背) 終点 - 東京都大島町 (御神火茶屋・車道合流点) 終点 - 東京都大島町 (三原山中腹溶岩流南側) 終点 - 東京都大島町 (三原山中腹溶岩流北山・ 車道分岐点)	大島三原山外 輪山西部	湯場から外輪山への到達道路として整備する。	平 5 . 7 .19 告示
4	大島三原山 登山線	起点 - 東京都大島町 (元町・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (御神火茶屋)		三原山登山の最短到達堂として整備する。	昭 59. 5 .26 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
5	利島循環線	起点 - 東京都利島村（蛇洞沢・国立公園境界） 終点 - 東京都利島村（日立沢・国立公園境界） 終点 - 東京都利島村（宮塚山中腹・車道合流点）	みなみがやま 南ヶ山	利島中腹のヤブツバキ林景観等の探勝及び登山道へのアプローチ道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
6	わかごうほぶしゅうら 若郷羽伏浦線	起点 - 東京都新島村（若郷・国立公園境界） 終点 - 東京都新島村（本村・国立公園境界） 終点 - 東京都新島村（羽伏浦）	あづちやま 阿土山 新島飛行場	わかごう ほぶしゅうら 若郷・羽伏浦への到達道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の 変更（区間の変更）
7	わだはま 和田浜線	起点 - 東京都新島村（和田浜） 終点 - 東京都新島村（前浜・国立公園境界）		北西部海岸の海蝕崖景観等を探勝するための道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の 変更（区間の変更）
8	にいじま みやつかやま 新島 宮塚山線	起点 - 東京都新島村（本村・国立公園境界） 終点 - 東京都新島村（宮塚山）		みやつかやま 宮塚山への到達道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
9	あおみねやま 青峰山線	起点 - 東京都新島村（本村・国立公園境界） 終点 - 東京都新島村（前浜・国立公園境界） 終点 - 東京都新島村（間々下浦）		あおみねやま まました 青峰山園地、間々下園地への到達道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
10	むかいやま 向山線	起点 - 東京都新島村（留山・車道分岐点） 終点 - 東京都新島村（端々）	いしやま 石山 たんごやま 丹後山	むかいやま かのどのほな 向山、神渡鼻方面への到達道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
11	しきねじまじゅんかん 式根島循環線	起点 - 東京都新島村（野伏・国立公園境界） 終点 - 東京都新島村（泊・国立公園境界） 終点 - 東京都新島村（泊・国立公園境界）	いしじろがわ 石白川 じなたおんせん 地鉦温泉	島内利用拠点の連絡、探勝等のための道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示昭 59. 5 .26 告示の 変更（線形の変更）
12	やきやま 大浦カンピ キ浦線	起点 - 東京都新島村（焼山・車道分岐点） 終点 - 東京都新島村（大浦） 終点 - 東京都新島村（カンピキ浦）		大浦、カンピキ浦への到達道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
13	こうづさわ 那智つづき 沢線	起点 - 東京都神津島村（神津沢・国立公園境界） 終点 - 東京都神津島村（走る間） 終点 - 東京都神津島村（赤崎）	つづき堂 ながはま 長浜	かんのんうら ながはま あかさき 観音浦及び長浜、赤崎への到達道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の 変更（区間の変更）
14	さわじり 沢尻線	起点 - 東京都神津島村（神津港・国立公園境界）	さわじり 沢尻	さわじり ながはま 沢尻、長浜間の連絡道路及び海岸線探勝のための道	昭 59. 5 .26 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
		終点 - 東京都神津島村（長浜・車道合流点）		路として整備する。	
15	多幸線	起点 - 東京都神津島村（よたね・国立公園境界） 終点 - 東京都神津島村（多幸湾）		多幸湾集団施設地区への到達道路及び湾岸周辺の探勝のための道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
16	秩父山線	起点 - 東京都神津島村（菊若・国立公園境界） 終点 - 東京都神津島村（秩父山・車道合流点）	焼山	神津島南部地域の自然景観等探勝のための道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の変更（線形の変更）
17	御蔵島南郷線	起点 - 東京都御蔵島村（舟木橋・国立公園境界） 終点 - 東京都御蔵島村（南郷） 終点 - 東京都御蔵島村（大島分川）		南郷への到達道路として整備する。また大島分川方面への枝線も合わせて整備する。	平 14. 8 .15 告示昭 59. 5 .26 告示の変更（線形の変更）
18	御蔵島西海岸線	起点 - 東京都御蔵島村（里・国立公園境界） 終点 - 東京都御蔵島村（黒崎高尾） 終点 - 東京都御蔵島村（ボ口沢） 終点 - 東京都御蔵島村（尾番の尾の頭）		黒崎高尾山方面への到達道路及び西海岸部の探勝のための道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の変更（区間の変更）
19	八丈富士周回線	起点 - 東京都八丈町（三根・国立公園境界） 起点 - 東京都八丈町（三根・車道分岐点） 終点 - 東京都八丈町（大賀郷・国立公園境界）		八丈富士側の海岸線（海食崖）景観等の探勝のための道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
20	八丈富士登山線	起点 - 東京都八丈町（三根・国立公園境界） 起点 - 東京都八丈町（大賀郷・車道分岐点） 終点 - 東京都八丈町（八丈富士中腹・車道合流点）		八丈富士への到達道路及び周辺の景観探勝のための道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示昭 59. 5 .26 告示の変更（線形の変更）
21	八丈三原山周廻線	起点 - 東京都八丈町（大賀郷・国立公園境界） 終点 - 東京都八丈町（榎立・国立公園境界） 起点 - 東京都八丈町（榎立・国立公園境界） 終点 - 東京都八丈町（中之郷・国立公園境界） 起点 - 東京都八丈町（中之郷・国立公園境界） 終点 - 東京都八丈町（末吉・国立公園境界）	登龍峠	八丈島南部の三原山の海岸線（海食崖）景観等探勝のための道路及び点在する各地利用拠点を結ぶ道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示

番号	路線名	区 間	主要経過地	整備方針	告示年月日
		起点 - 東京都八丈町（末吉・国立公園境界） 終点 - 東京都八丈町（三根・国立公園境界）			
22	八丈三原山線	起点 - 東京都八丈町（大賀郷・国立公園境界） 起点 - 東京都八丈町（榎立・車道分岐点） 終点 - 東京都八丈町（八丈三原山山頂）	三原滝	八丈三原山への到達道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
23	八丈三原山登山線	起点 - 東京都八丈町（榎立・国立公園境界） 終点 - 東京都八丈町（八丈三原山山頂）		八丈三原山への到達道路として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
24	永郷富士山線	起点 - 東京都八丈町（永郷・車道分岐点） 終点 - 東京都八丈町（八丈富士中腹・車道合流点）		八丈富士への到達道路として整備する。	平 14. 8 .15 告示

(イ) 自転車道

自転車道は次のとおりとする。

(表 17：道路(自転車道)表)

番号	路線名	区 間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	もとまちのだはま 元町野田浜 線	起点 - 東京都大島町(なかの 仲野・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町(かざはやざき 風早崎)	いずみはま 泉浜 のだはま 野田浜 ごいしはま 碁石浜	大島北西海岸線の海蝕崖景観等を探勝するための自転車道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
2	羽伏浦線	起点 - 東京都新島村(はぶしうら 羽伏浦) 終点 - 東京都新島村(とみやま 留山)	はぶしうら 羽伏浦海岸	羽伏浦の白ママ海浜景観を探勝するための自転車道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
3	八丈富士周 回線	起点 - 東京都八丈町(みつね 三根・車道分岐点) 起点 - 東京都八丈町(おおかごう 大賀郷・国立公園境界)	たれどわん 垂戸湾 かんどやま 神止山 おおごしがはな 大越ヶ鼻 なんばらせんじょうじき 南原干畳敷	八丈富士と海岸線の自然を探勝するための自転車道として整備する。	平 5 . 7 .19 告示

(ウ) 歩道

歩道は次のとおりとする。

(表 18 : 道路 (歩道) 表)

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
1	泉津海浜線 せんづかいひん	起点 - 東京都大島町 (泉津・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (大島集団施設地区)	大島海浜植物群落	海岸線及び海浜植物群落景観を採勝するための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
2	裏砂漠線 うらさばく	起点 - 東京都大島町 (大島集団施設地区) 起点 - 東京都大島町 (余背) 終点 - 東京都大島町 (内輪山北・歩道合流点)	裏砂漠	火山地形特に砂漠景観を採勝するための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
3	元町三原山線 もとまちみはらやま	起点 - 東京都大島町 (外輪山北西中腹) 終点 - 東京都大島町 (御神火茶屋)		元町より三原山外輪に至る登山歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
4	三原山カルデラ周廻線	起点 - 東京都大島町 (御神火茶屋) 終点 - 東京都大島町 (火口茶屋) 終点 - 東京都大島町 (御神火茶屋・歩道合流点)	火口茶屋 三原新山 鏡端	三原山カルデラ内溶岩流及び火口景観等の採勝のための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
5	間伏三原山線 まぶしみはらやま	起点 - 東京都大島町 (間伏) 終点 - 東京都大島町 (外輪山南西・歩道合流点)		間伏より三原山外輪山に至る登山道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
6	波浮三原山線 はぶみはらやま	起点 - 東京都大島町 (波浮・国立公園境界) 終点 - 東京都大島町 (内輪山南・歩道合流点)	二子山	大島南部より三原山への登山道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
7	利島宮塚山登山線 としまみやつかやま	起点 - 東京都利島村 (宮塚山北麓) 終点 - 東京都利島村 (宮塚山南麓)	宮塚山山頂	利島宮塚山を縦断する登山道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
8	新島宮塚山登 にいじまみやつかやま	起点 - 東京都新島本村 (淡井浦)	宮塚山山頂	新島宮塚山周辺の自然を採勝するための歩道として	昭 59. 5 .26 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
	山線	終点 - 東京都新島本村（宮塚山）		整備する。	
9	向山線 <small>むかいやま</small>	起点 - 東京都新島村（瀬戸山） 終点 - 東京都新島村（タシノ沢）		新島向山周辺の自然を探勝するための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
10	神渡鼻線 <small>かんののはな</small>	起点 - 東京都新島村（端々） 終点 - 東京都新島村（神渡鼻）	新島灯台	白ママ層断崖周辺の海蝕崖景観を探勝するための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
11	式根島海岸線	起点 - 東京都新島村（泊） 終点 - 東京都新島村（御釜湾）	大浦 カンビキ浦 海驢立鼻	式根島の海岸線、海蝕崖景観を探勝するための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
12	名組湾返浜線 <small>なぐみわんかえすはま</small>	起点 - 東京都神津島村（名組湾） 終点 - 東京都神津島村（返浜）		名組湾と返浜を結ぶ連絡歩道として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の 変更（名称及び区間 の変更）
13	観音浦線 <small>かんのんうら</small>	起点 - 東京都神津島村（走る間） 終点 - 東京都神津島村（観音浦）		東海岸探勝のための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
14	つづき沢線	起点 - 東京都神津島村（神津沢） 終点 - 東京都神津島村（つづき堂）		天上山山麓景観を探勝するための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
15	天上山線 <small>てんじょうさん</small>	起点 - 東京都神津島村（神津沢・国立公園境界） 起点 - 東京都神津島村（多幸湾・集団施設地区） 終点 - 東京都神津島村（那智・歩道合流点） 終点 - 東京都神津島村（天上山・歩道合流点）	天上山山頂	神津沢及び多幸湾側の双方より天上山へ至り、火山性荒原の景観や海岸景観を探勝するための登山道として整備する。	平 . . 告示 昭 59. 5 .26 告示の 変更（路線の追加）
16	高処北麓線 <small>こうしょほくろく</small>	起点 - 東京都神津島村（神津沢・歩道分岐点） 終点 - 東京都神津島村（高処山・歩道合流点）		集落と集団施設地区を結ぶ連絡歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
17	一ノ首線 <small>いちのくび</small>	起点 - 東京都神津島村（葱の場） 終点 - 東京都神津島村（一ノ首）	神津島灯台	神津島南部海岸の海蝕崖景観を探勝するための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示

番号	路線名	区間	主要経過地	整備方針	告示年月日
18	御山縦走線	起点 - 東京都御蔵島村（尾番の尾の頭・車道分岐点） 終点 - 東京都御蔵島村（南郷）	鈴原湿原 御山山頂 長滝山 御代ヶ池	御蔵島を縦断する歩道で御山山頂及び御代ヶ池を中心とした植生景観を採勝するための歩道として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の 変更（名称及び区間 の変更）
20	黒崎高尾線	起点 - 東京都御蔵島村（黒崎高尾） 終点 - 東京都御蔵島村（稲根神社）		大断崖方面及び稲根神社に至るための歩道として整備する。	平 14. 8 .15 告示 昭 59. 5 .26 告示の 変更（名称及び区間 の変更）
21	八丈富士登山線	起点 - 東京都八丈町（八丈富士中腹） 終点 - 東京都八丈町（八丈富士山頂） 終点 - 東京都八丈町（火口底）		八丈富士山頂付近の火山地形植生等の景観を採勝するための歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
22	八丈三原山登山線	起点 - 東京都八丈町（三根） 終点 - 東京都八丈町（三原山山頂） 終点 - 東京都八丈町（東台子山）		八丈三原山への登山歩道として整備する。	昭 59. 5 .26 告示
23	裏砂漠外輪山線	起点 - 東京都大島町（差木地・車道分岐点） 終点 - 東京都大島町（外輪山・歩道合流点）		砂漠地帯を採勝するための歩道として整備する。	平 14. 8 .15 告示
24	釜の下地鉦線	起点 - 東京都新島村（式根島・釜の下） 終点 - 東京都新島村（式根島・地鉦）		式根島の海岸線を採勝するための歩道として整備する。	平 14. 8 .15 告示
25	乙女御山線	起点 - 東京都御蔵島村（赤沢・車道分岐点） 終点 - 東京都御蔵島村（御山山頂・歩道合流点）	乙女峠	御山への採勝歩道として整備する。	平 14. 8 .15 告示
26	黒崎赤沢線	起点 - 東京都御蔵島村（赤沢・車道分岐点） 終点 - 東京都御蔵島村（黒崎高尾・歩道合流点）		赤沢巨樹の森を採勝するための歩道として整備する。	平 14. 8 .15 告示
27	長滝山線	起点 - 東京都御蔵島村（長滝山・車道分岐点） 終点 - 東京都御蔵島村（長滝山・歩道合流点）		長滝山を中心として植生景観等を採勝するための歩道として整備する。	平 14. 8 .15 告示

4 参考事項

(1) 過去の経緯

ア 公園区域

昭和30年4月1日	国定公園指定
昭和39年7月7日	国立公園指定
昭和59年5月26日	三宅島を除く再検討
平成6年11月7日	三宅島再検討

イ 保護計画

昭和39年7月7日	特別地域指定
昭和39年7月7日	特別保護地区指定
昭和59年5月26日	三宅島を除く再検討
平成6年11月7日	三宅島再検討

ウ 利用計画

昭和39年7月7日	利用計画の予定
昭和59年5月26日	三宅島を除く再検討
平成5年7月19日	三宅島を除く第1回点検
平成6年11月7日	三宅島再検討

この資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図及び2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平24情複、第135号)